

小牧市難聴・中途失聴者協会

とても暑かった今夏、今も秋が続いているような気候ですが、もう「師走」。

8月は休会。9月はコロナで中止になっていたふれあいセンターの調理室が利用できるようになり、ホットケーキの素で簡単なケーキ作りをしました。2か月ぶりの例会なので、焼きあがったケーキとコーヒーでおしゃべりの花が咲きました。9月末にあった市総合防災訓練で「このマークをご存知ですか？」と耳マークの周知活動をしました。10月は「福祉展」の要約筆記コーナーで、来場者と筆談で交流に協力をして、11月は、12月にふれあいセンターの2階で初出展する作品展の作品作りをしました。展示準備も会員が協力して行い、いろいろな作品を来館者に見ていただけたと思います。

毎年12月に行う「耳の不自由な方の交流会」は、案内が広報発行の翌日の開催となりましたが、2名の新しい方が参加してくださり「こんなに仲間がいるの？」とビックリされていました。9月から充実した活動ができたと思います。来年もワイワイとにぎやかに仲良く活動したいものです。(古木)



▲ふれあいセンター2階の展示コーナーに飾った作品の数々

展示準備をする会員▶



ここばかりこまき

コロナ禍でなかなかできなかったイベントとして、9月3日、久しぶりに映画上映会を行いました。「普通に死ぬ」という重度の障害者の自立や、年を重ねていく障害当事者や家族のドキュメンタリー映画でした。参加者はまだ少なめでしたが、医療的ケアの必要な方が地域で暮らす厳しさ、家族が病気で亡くなった後の暮らしのことなど、ご本人の気持ちや周りの支援者の思いをひしひしと感じる映画で、いろいろ考えさせられました。

そして、11月19日には、ここばかりこまきメンバーの研修として小牧災害ボランティアネットの会の鳥居さんをお招きして、防災について学びました。小牧市防災ガイドブックについて丁寧に説明いただき、地震や風水害への備えとして、まずはハザードマップで「まち」を知り、備えをすることの大切さを学びました。障害者にとっての防災としては、災害時は支援者も被災者になるので、まずは自分たちでできること＝自助としての備えをし、その上で地域や行政にしてほしいことを考えて共助・公助へとつなげる準備をすることが大切ということでした。また、いつも食べているトルト食品などを備えて賞味期限前に食べて、買い足すというローリングストック法も勧められました。この研修をどう生かしていくか・・・をまた考えていきたいと思います。(御手洗)



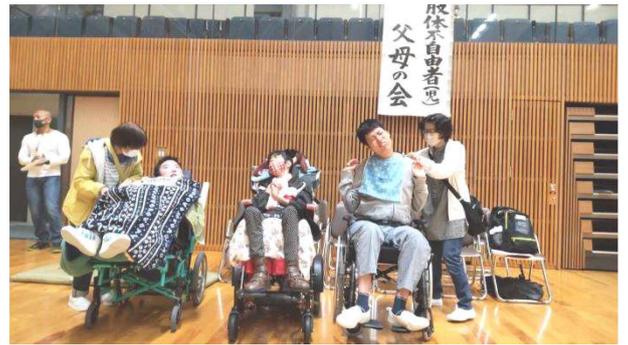
▲各家庭に配られている「小牧市防災ガイドブック」の活用について学ぶメンバー

小牧市肢体不自由児者父母の会

9月になっても暑い日が続き、秋が駆け足で過ぎてしまいました。

今年も11月に『小牧市障がい児スポーツレクリエーションのつどい』がありました。昨年に続き、開催されたことで楽しい1日を子ども達と過ごすことが出来ました。今年はインフルエンザが例年に比べてずいぶん早い時期から猛威をふるって、ドキドキしながらの参加でした。参加人数も昨年より多くなりましたが、感染対策も社会福祉協議会の方々や実行委員の方、沢山のボランティアの方がいろいろと考えて下さいました。楽しい1日が過ぎました。御尽力頂いた皆様、本当にありがとうございます。

父母の会としては、この後12月にクリスマス会を行います。音楽療法士によるクリスマスコンサートです。今年は簡単な工作を行い、みんなで楽しくコンサートを盛り上げる予定です。詳しいことは次の活動報告で。良いお年をお迎え下さい。(上田)



▲『小牧市障がい児スポーツレクリエーションのつどい』で楽しむ子どもたち

こまき視覚障がい者の会

活動の中で感じること

「今年はどこもかしこもイベントだらけ？」という当会も例外ではなく、8月以降はイベントに追われているという感じがありました。(こまき視覚障がい者の会のfacebookで紹介しています)

時に「何故、引き受けたのか？」という意見も出るほどで、がむしゃらに走って来たこれまでとは違って、当会も正しく「選択」することを求められるようになりました。

ところで「選択」するには材料や基準が必要になりますが、その材料が少しずつ集まっていることはとても嬉しいことです。されど「基準」とは何か？コロナ禍のように時期というものも要素ではありますが、やはり「基準」は変わることがなくブレないものであるべきでしょう。



▲名古屋芸術大学でのレクチャーは、10月に当会が主催する『暗闇のアート展』で協力を得る学生さんたちに、目の見えない、見えにくい世界への理解を深めてもらうために行いました

幸いなことに会のイベントはとても順調ですが、それだけでなくプロボノの助成金にチャレンジし不採用で残念な結果だったのは必要な体験だったし、名古屋芸術大学・文芸ライティングコースでのレクチャーなどは、学生を前にして語りながら「何を目的として活動するのか？」を振り返る良い機会になりました。

活動はまだまだイベント続きで、追加で組み込まれることもあります。コアとなることを外さずに進んで行きたいと思っています。(水谷)

小牧市おもちゃ図書館きらら

9月24日(日)「ふれあいまつり」に参加しました。今年はジュースの販売のみで、以前のようにおもちゃで遊ぶコーナーもできるといいと思いました。



▲福祉展でのおもちゃづくり

10月22日(日)「福祉展」に参加し、いつものように手作りおもちゃをみんなで作りました。紙コップとガチャガチャのカプセルでできる「おきあがりこぼし」です。おもりを入れたカプセルの半分を紙コップの底にテープでつけるだけで完成。折り紙やシールでデコレーションしました。上下かさまにしておしり部分を突つくとあーら不思議、くるっとひっくり返ってもと通りに立ち上がります。材料はお昼過ぎにはなくなっていました。

11月23日(木)「おもちゃ図書館研修会」に参加しました。新しいおもちゃや簡単な手作りおもちゃの紹介もありました。とても参考になりました。

12月3日(日)今年もふれあいセンターで「ピアノコンサート」を行いました。サンタの衣装で登場したKAKERUさんの生演奏は日常を忘れさせてくれます。スタッフのハンドベル『もろびとこぞりて』の演奏に始まり、アンパンマンやディズニーの曲はもちろん、お父さん、お母さんの懐かしいリクエスト曲にも応えてくださいます。時間はあっという間に過ぎました。来年度は時間拡大して、みんなで踊ったり楽器を鳴らしたりして楽しもうと思っています。

1月21日(日)には、他のおもちゃ図書館の方々を招いて学習会を予定しています。新しい企画や運営方法のヒントが見つかるかと期待しています。

2月18日(日)本年度3回目の遊ぼうDAYは『ポッチャで遊ぼう』です。みんなが安心して参加できるように工夫します。今からワクワクしています。(船橋)



▲毎年恒例のクリスマスピアノコンサート

【会員を募集しています】

小牧市のさまざまな障害者当事者団体、支援者団体がつながって、いろいろな障害のある人の立場を互いに知りあい、共同して市民に向けて発信していくことで、障害のある人も誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくことを目的に活動しています。活動に賛同していただける団体、個人の方を募集しています。

■正会員(団体のみ 年会費 2,000 円) ■団体賛助会員(年会費 1,000 円) ■個人賛助会員(年会費 1,000 円)

※賛助会員は、活動への参加は難しいけれど趣旨に賛同し、イベントへの参加や活動の周知等を通じて応援してくださる会員です。議決権はありませんが、イベント等のご案内を差し上げます。申込みは下記メールアドレスへご連絡ください。

■小牧市障害者団体連絡会加入団体(50音順): 正会員(5) 賛助会員(5)

【正会員】ここぼりこまき、小牧市おもちゃ図書館きらら、こまき視覚障がい者の会、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市難聴・中途失聴者協会

【賛助会員】小牧市聴覚障害者福祉協会、小牧おひさまクラブ、手話サークルおてだま、手話サークルふたば、全国障害者問題研究会小牧サークルかざぐるま

小牧市障害者団体連絡会通信 2023年12月発行
〒485-0811 小牧市光ヶ丘1-1 アクシス光ヶ丘4-403(山中)
【メール】 mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp
【ホームページ】 http://komaki-sdr.sakura.ne.jp

※視覚障害のある方へ
ホームページに本通信の
テキスト版があります。

